

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 希望の郷

作成日: 令和 1 年 11 月 11 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議については、行政や地域住民との信頼関係を築いてきており、また地域と合同の避難訓練等を毎年開催することで地域との連携をより強固なものにしてきている。一方で参加メンバーが固定化されつつあるので、家族についてはお忙しく参加が難しい事情もあるが、できるだけ参加して頂くことで多くの意見を取り入れ施設の運営に繋げていくことを目指す。	現在の参加者に加え、地域住民の方や利用者ご家族へ参加を促す。また毎回参加ではなく交替で参加して頂く等柔軟な提案をすることで、会議に参加しやすい環境を整える	12ヶ月
2	35	看取りについての理解を深める	看取りについてはその時の利用者の状況と家族の状況、医療の状況や施設の状況等様々な状況を鑑み柔軟に対応しており、過去一人看取りをさせて頂いたが、今後新たに看取りをさせて頂く方が出てこられた時に備え、日頃から看取りについての知識と理解を深めることを目指す。	看取りに関する職員勉強会を定期的に行い、職員全員で看取りに対する知識と理解を深める。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。